

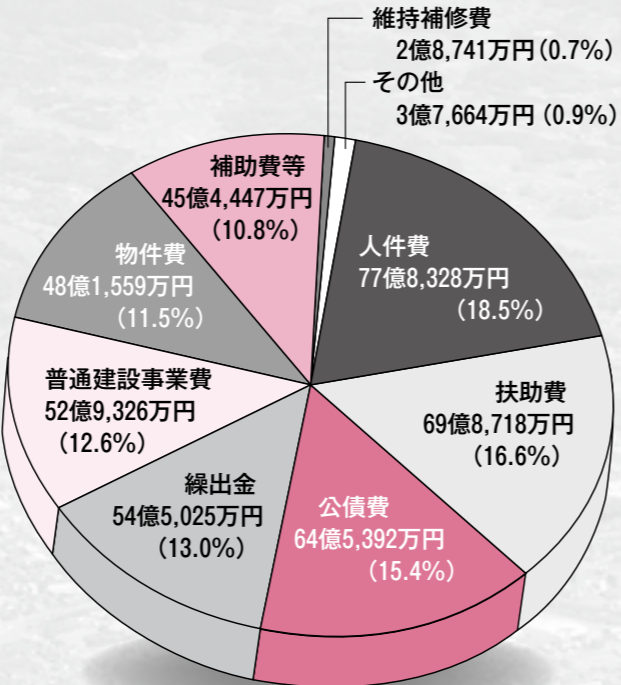
そのほかの会計

特別会計	381億8,753万円
磯野計記念奨学金	158万円
食肉処理センター	2億968万円
国民健康保険	108億3,471万円
公共用地取得事業	4億8,650万円
下水道事業	61億1,800万円
農業集落排水事業	2億7,285万円
老人保健	122億4,998万円
全本明正奨学金	1,271万円
介護保険	74億801万円
簡易水道事業	5億8,305万円
土地取得造成事業	1,045万円
財産区会計	1,732万円
水道事業会計	60億7,533万円
工業用水道事業会計	2億2,040万円

用語の説明

- 一般会計** 福祉や教育、道路整備やごみ処理など基本的な市の事業を行う会計
- 特別会計** 特定の事業を行うために特定の収入をその支出に充てるため、経理を独立して設ける会計
- 財産区会計** 山林などを所有し、その管理や処分を目的とした特別な地方公共団体の会計
- 水道事業会計** 水道事業から得られる収入で浄水や給水などの費用を賄う独立採算制の企業会計
- 工業用水道事業会計** 久米産業団地に立地する工場への給水事業の企業会計

■性質別歳出をしてみると...



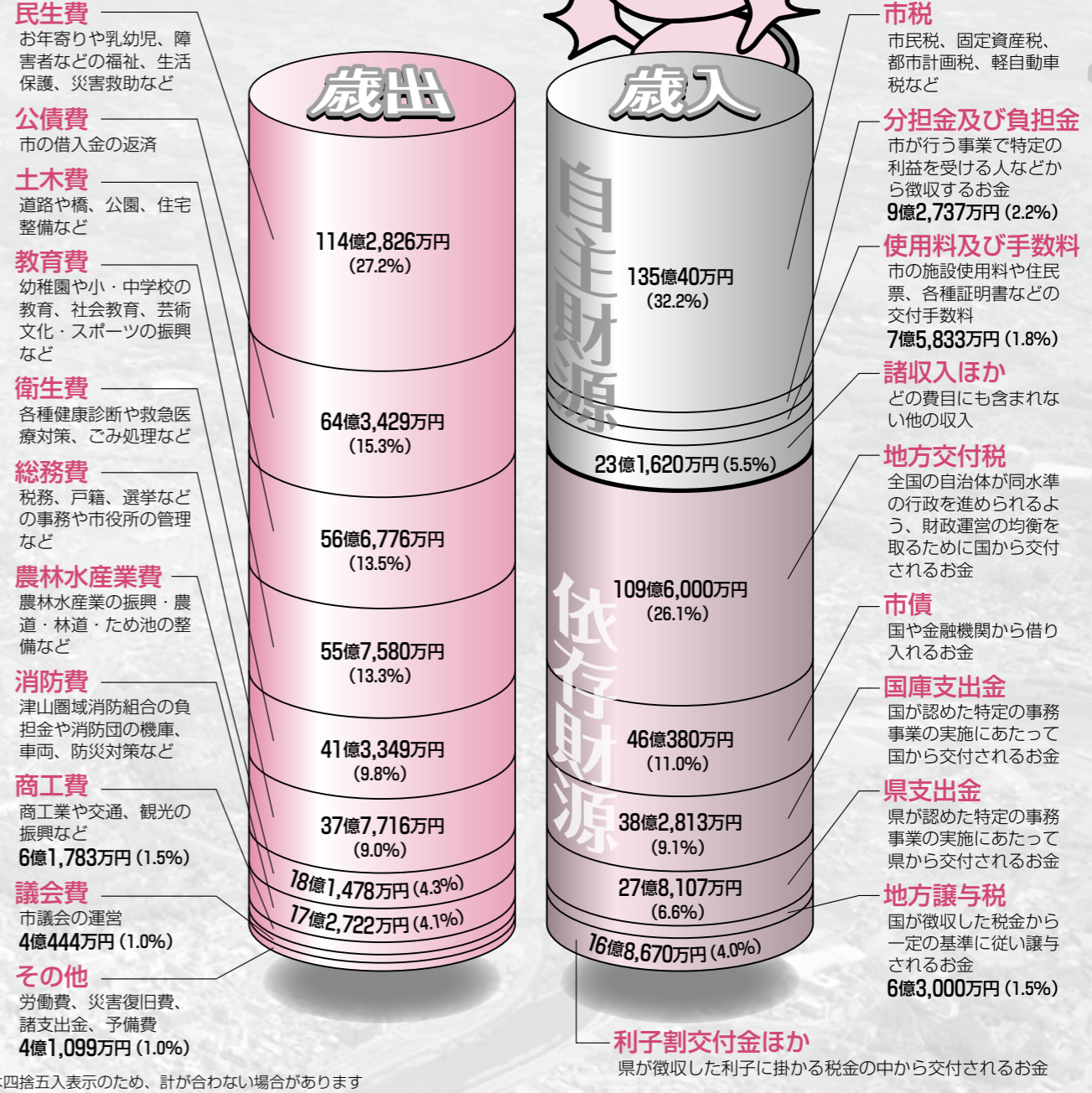
用語の説明

- 人件費** 職員や特別職の給与、議員・各種委員会委員の報酬など
- 扶助費** 生活保護費や児童手当、医療費などに使うお金
- 公債費** 道路や公共施設などの整備のため借り入れた市債の返済に充てるお金
- 繰出金** 国民健康保険や下水道事業などの特別会計へ繰り出すお金
- 普通建設事業費** 道路や橋、学校、公園などの建設・整備に使うお金
- 物件費** 業務委託料や使用料など物品調達に使うお金
- 補助費等** 各事業や団体への補助金や負担金に使うお金
- 維持補修費** 市の施設などの補修に使うお金
- その他** 投資及び出資金、貸付金、災害復旧費、積立金

一般会計

419億9,200万円

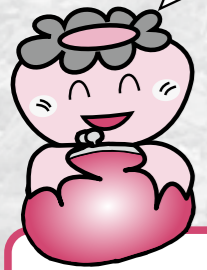
よくに
良い国 (9が2個) つくろう予算だよ!
「しあわせ大国 つやま」を目指すんだ!



*数値は四捨五入表示のため、計が合わない場合があります

みんなのお金は大切に使わないとね!

平成19年度予算は
市民1人当たり*
77万9,655円
※110,937人(3月1日現在)で計算



歳入

- ◆ 地方交付税 6億600万円 (5.2%)、地方譲与税等 7億9256万円 (25.5%) 減などの大幅な減額
- ◆ 国からの税源移譲により、市税は12億5866万円 (10.3%) 増額の見込み
- ◆ 財源不足のため、財政調整基金等の貯金10億5064万円を取り崩し

歳出

- ◆ 歳出の徹底的な見直し、事業の選択と集中により予算を編成
- ◆ 人件費は3億5822万円 (4.4%) 減額
- ◆ 40人程度の退職に対し、15人程度の採用にとどめたことや給与抑制の取り組みが反映しています

- ◆ 性質別歳出では、普通建設事業費、補助費等、繰出金以外は減額
- ◆ 普通建設事業費は、給食センター建設事業など総合計画の主要事業に取り組みが反映しています

予算の特徴

- ◆ 一般会計の予算額は、419億9200万円。昨年の当初予算は9200万円。昨年の当初予算は市長選を控えていたことによる骨格編成だったため、肉付けした後の6月補正後と比較すると、14億5011万円 (3.3%) を減額した緊縮型予算となりました。
- ◆ 財源不足に対処
まず行財政改革の推進を柱とする徹底した歳出の見直しと削減を行い、事業の選択と集中により、メリハリのある予算編成に努めました。
- ◆ 総合計画の推進と行革効果
厳しい財政の下、第4次総合計画に盛り込まれた事務事業を優先しました。
また、行財政改革の効果の一部を「しあわせ枠」として子育てや教育などのソフト事業に配分しました。



行革王子です。
みなさんの税金をむだにしないよう事務のあり方や事業を見直して「しあわせ大国つやま」の実現に向けて進んでいきます。